

「京都マラソン2026」において日本管財が警備業務を実施

～7つの世界遺産を巡るコースで大会の安全運営をサポート～

日本管財株式会社（本社：東京都中央区、本店：兵庫県西宮市、代表取締役社長：福田 慎太郎、以下「当社」）は、2026年2月15日（日）に開催された「京都マラソン2026」において警備業務を担当し、大会の安全な運営をサポートしたことをお知らせいたします。



京都マラソン2026について

京都マラソンは、「市民スポーツの振興」、「京都の魅力を国内外に発信」、「京都・日本の活性化」を目的とした都市型市民マラソン大会です。大会メインコンセプトは「DO YOU KYOTO?マラソン」「みんなが主役」。環境先進都市・京都にふさわしい大会として、環境に配慮した様々な取り組みが行われています。

今大会は、16,000人が出走し、「マラソン」抽選枠の倍率は2.7倍と昨年度（2.1倍）を上回る結果となりました。

フルマラソンのコースは、西京極総合運動公園をスタートし、「金閣寺」や「銀閣寺」など7つの世界文化遺産周辺を巡り、平安神宮前でゴールする、京都の歴史と景観が楽しめるコースです。沿道の13箇所では、ダンスや演奏でエールを送る「沿道盛り上げ隊」や、どなたでも参加できる「ハイタッチゾーン」が設置され、ランナーと観客が一体となって大会を力強く後押ししました。

参考：「京都マラソン2026 | みんなが主役」（公式ホームページ）（<https://kyoto-marathon.com/>）



日本管財の取り組み・担当者コメント

当社は2014年の第3回大会より警備業務を担当しています。

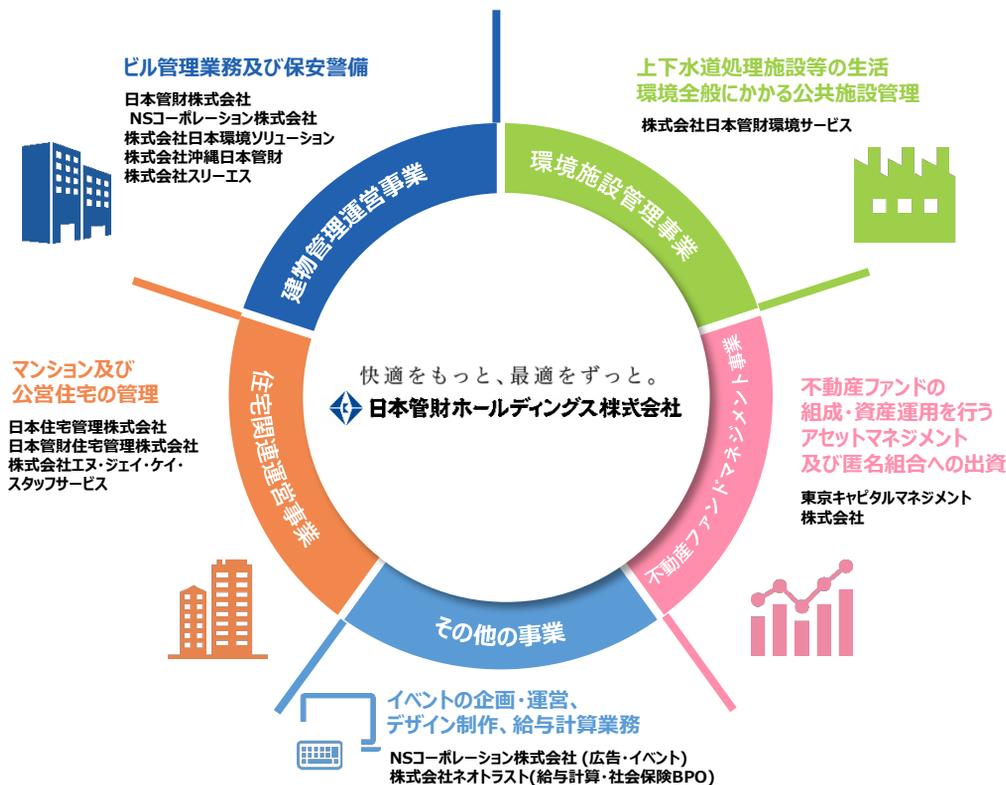
本大会では、当社のスタッフ80名弱、警備員等配置2,700名弱の体制で「安全・安心・円滑な大会運営」に寄与することに全力で取り組みました。

担当した特別警備対策グループは、「京都マラソン事務局さまや関係機関さまと1年間を通じて打合せをさせていただき、現地実査を経て、「安心・安全・円滑」な大会となるよう、計画書の策定や当日運用に尽力しました。」と語りました。

当社は今後も、各種イベントに応じた警備体制を構築し、安全で円滑な運営の実現に努めてまいります。

日本管財グループについて

日本管財グループは1965年に設立し、現在は国内及び海外で建物管理運営事業、環境施設管理事業、住宅関連運営事業、不動産ファンドマネジメント事業等を展開しています。独立系であることを強みに、オフィスビル、商業施設、ホテル、教育機関、公共施設など、幅広い用途に携わっています。



会社概要

社名 : 日本管財株式会社
所在地 : 東京都中央区日本橋2丁目1番10号
設立 : 1965年10月27日
代表者 : 代表取締役社長 福田 慎太郎
資本金 : 3,000百万円
事業内容 : 建物総合管理業
URL : <https://www.nkanzai.co.jp/>